

令和2年度

ボラセン通信 3月号

発行：社会福祉法人旭川市社会福祉協議会 旭川市ボランティアセンター

この通信は、旭川市ボランティアセンターの取組や、ボランティア活動の報告
ボランティアの募集など、ボランティアに関するさまざまな情報をお届けします！



「企業会社の社会貢献」

～地域で活かす企業のカ～

旭川市ボランティアセンターには、社員が一丸となって「地域で社会貢献をしたい」と仕事の合間にボランティア活動を行っている企業が現在9社登録されています。

今回は、企業によるボランティア活動を紹介したいと思います。

【荒井建設株式会社の皆さん】

これまでも様々な社会貢献に取り組んできましたが、今回は「地域への社会貢献として、会社の近くに住むひとり暮らしの高齢者の力になりたい。」との思いから西地区に住むひとり暮らしの高齢者宅2軒の除雪作業を行いました。

作業終了後、お住まいの方はたいへん喜んでおられ、お礼に飲み物や手作りマスクを渡していました。



【テクノス北海道の皆さん】

平成21年度から台場地区のひとり暮らしの高齢者宅の除雪を行っています。

台場地区社会福祉協議会 会長 星山氏が雪で困っているひとり暮らしの高齢者宅を調整し、今年は、4軒の除雪を行いました。

お住まいの方からは、例年になくたくさんの重い雪がすっきりと片付き、とても助かりましたとの感謝の声が聞かれました。



今回、ご紹介させていただきました企業によるボランティア活動以外にも、旭山動物園などの公共施設で塗装作業、福祉施設でのお手伝いなどで活躍している企業があります。

また、センターに登録はしてなくても、タオルや石けん、使用済み切手を社員で集めて旭川市愛情銀行へ寄付をする取り組みを行っている企業も多くあります。

今後も、センターでは企業の「地域で社会貢献をしたい」という想いをカタチにしていきたいと思います。



「コロナ禍に学ぶ災害ボランティア活動」



2020年2月から新型コロナウイルス感染症が全国的に流行し不安な状況の中、7月には熊本県人吉市・八代市で豪雨災害が発生し、多くの方が被災されました。そして、今尚、被災地では住み慣れた土地を離れて仮設住宅などで不自由な暮らしを送られている方がいます。

本研修会では、このコロナ禍の中で、災害に備えた日頃の準備や心構えを学び、災害時の感染症予防や災害ボランティアについての理解を深めていただく機会になればと思います。

【日時】令和3年3月6日（土）午前10時～正午

参加無料

【会場】旭川市ときわ市民ホール（5条通4丁目）4階／多目的ホール

【対象】災害ボランティア、災害ボランティア活動に関心のある方など

【申込】3月3日（水）まで旭川市ボランティアセンターへお電話または、同封しています申込書をFAXしてください。

【内容】○講話「災害に備えて～自分の身は自分で守ろう～」

講師：旭川市防災安全部防災安全課 石川 秀世 氏

○講話「災害時の感染症予防について」

講師：旭川市社会福祉協議会職員 看護師 岩内 いづみ 氏

参加者には、フェイスシールドを1枚差し上げます！

先着 50 名



「令和3年度」ボランティア保険の受付を 3月1日（月） から始めます！

安心してボランティア活動ができますように、ボランティア活動保険の加入をお勧めしています！

【ボランティア活動保険加入申込みについて】

- ◇当センターに登録されている活動者（個人）とボランティア団体が加入対象です。
- ◇当センターへ届け出ているボランティア活動が補償対象です。複数活動されている方は、活動内容を当センターへお申し出ください。
- ◇①基本プラン（350円）②天災・地震補償プラン（500円）の2プランです。
- ◇加入申込みの際には、印鑑と保険料金をご持参ください。
- ◇ボランティア活動保険の加入は1人1口です。複数活動をされている方は、他ボランティア団体等で加入手続きを行っている場合がありますのでご確認ください。

お知らせ

- ◇新年度に入り、転居など様々な事情でボランティア活動が出来なくなる方や休止される方、また、住所や連絡先に変更がある方はお知らせください。
- ◇ボランティア団体で代表者の変更がある場合は、お知らせください。

旭川市ボランティアセンター問合せ先

住所	旭川市5条通4丁目 旭川市ときわ市民ホール1階		
電話	21-5550	メール	volunteer@north.hokkai.net
FAX	23-0746	Facebook	「まちづくり ボランティア 旭川」で検索ください